

平成20年度事業

経 営 指 導 部

1. 畜産経営技術指導事業

畜産経営技術高度化推進事業をはじめとする畜産経営技術指導等を推進するとともに、畜産関係機関団体との連携を図りながら、畜産振興支援業務等を実施し、地域畜産の振興を図った。

2. 肉用牛肥育経営安定対策事業

契約生産者の積立金および国の補助金によって、地域肉用牛基金を造成のうえ、契約生産者に対して、四半期平均推定所得が基準家族労働費を下回った場合、その差額の80%以内の補てん金交付を行なうものである。

品種区分は3品種とし、肥育牛1頭毎のデータの管理、基金管理および補てんを行った。

平成20年の契約生産者数、事務委託団体数、基金造成頭数および補てん金交付頭数

区 分	契約生産者数	事務委託団体数	基金造成頭数	補てん交付		
				延戸数	頭 数	金 額
肉専用種	66名	12団体	4,029頭	81戸	2,043頭	98,393,700円
交雑種			2,227頭	65戸	1,966頭	63,209,600円
乳用種			903頭	22戸	1,024頭	23,244,800円
計	66名	12団体	7,159頭	168戸	5,033頭	184,848,100円

3. 肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業

飼料価格の高騰等の生産コストの上昇により収益性の低下が発生したことから、推定所得がマイナスとなった場合に、肉用牛肥育経営安定対策事業の契約者で生産性向上に取り組む肉用牛肥育経営者に対して補てんを行った。

(単位：戸、頭、円)

区 分	交 付			備 考
	延戸数	頭 数	金 額	
肉専用種	39	1,012	18,418,400	
交雑種	51	1,578	61,151,400	
乳用種	17	807	9,749,200	
計	107	3,397	89,319,000	

4. 肥育牛経営等緊急支援事業

収益性が低下する肉用牛肥育経営を支援するため、生産性の向上等に取り組む肉用牛肥育経営に対して奨励金を交付した。

(単位：戸、頭、円)

区 分	交 付			備 考
	延戸数	頭 数	金 額	
肉専用種	80	1,898	9,490,000	
交雑種	29	963	4,815,000	
乳用種	10	383	1,915,000	
計	119	3,244	16,220,000	

5. 畜産環境保全特別指導事業

家畜排せつ物の処理および管理にあたって、畜産経営者の支援指導を行った。

区 分	回数および戸数	備 考
指導・啓発検討会の開催	1回	・1回で10名出席
家畜排せつ物処理技術の啓発・普及のための講習会の開催	3回	・3回で149名出席
畜産経営に起因する環境問題解消のための特別指導チームによる技術面・経営面からの助言・指導	5戸	・5戸を延10名で助言・指導

6. 国産飼料資源活用促進総合対策事業（畜産生産性向上促進総合対策）

家畜の飼養技術の向上等を図ることによって、畜産の更なる生産性の向上等を図り、飼料資源をめぐる新たな国際環境に対応できる畜産の生産構造を確立するために、地域勉強会の開催および相談窓口の設置等を行った。

(単位：回)

区 分	回 数	備 考
推 進 会 議 の 開 催	1	・1回で16名出席
地 域 勉 強 会 の 開 催	2	・2回で延134名出席
相 談 窓 口 の 設 置	常設	・相談件数延6件
技術普及用パンフレット等の作成・配布	1	・1回で2,270部を印刷および頒布

7. 国産飼料資源活用促進総合対策事業（地域エコフィード利用体制確立支援）

エコフィードを家畜の飼料として利活用するため、地域情報の調査・分析等を行った。

(単位：回)

区 分	回 数	備 考																				
地 域 調 整 会 議 の 開 催	2	・2回で延21名出席																				
地 域 情 報 の 調 査 ・ 分 析	1	・1回で1,156件実施																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実施数</th> <th>回 数</th> <th>収 率</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畜産経営者</td> <td>387件</td> <td>154件</td> <td>40%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食品産業経営者</td> <td>769件</td> <td>186件</td> <td>24%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,156件</td> <td>340件</td> <td>29%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	実施数	回 数	収 率	備 考	畜産経営者	387件	154件	40%		食品産業経営者	769件	186件	24%		計	1,156件	340件	29%	
		区 分	実施数	回 数	収 率	備 考																
		畜産経営者	387件	154件	40%																	
食品産業経営者	769件	186件	24%																			
計	1,156件	340件	29%																			

8. 畜産特別資金推進指導事業

畜産特別資金借受者の、経営合理化および改善の進捗状況等を把握するための現地調査および助言・指導を行った。

区 分	回 数	備 考
都道府県支援推進協議会の開催	2回	・2回で延20名出席
経営改善計画作成・見直しおよび達成指導	延12回	・借受者実8戸に対して、延12回で延51名が助言・指導
借入者の経営改善のための指導資料作成	14部	・経営改善計画作成・見直しおよび達成指導結果の取りまとめ

9. 畜産経営技術高度化推進事業

酪農経営データベースの活用・利用促進の支援指導を行った。

対象戸数	支援機関	提供した情報の具体的内容
1戸	社団法人島根県畜産振興協会	酪農経営データベースの活用・利用促進 牛郡検定成績の活用方法

10. 改良増殖技術実態調査事業

改良増殖面からみた飼養戸数および頭数などについて、実態調査を行った。

(単位：回)

区 分	回 数	備 考
推 進 会 議 の 開 催	1	・島根県および社団法人島根県畜産振興協会
実態調査・とりまとめおよび資料作成	1	・平成20年2月1日現在の実態調査

11. 畜産経営改善技術のための支援・表彰事業（畜産経営技術等支援・表彰事業）

畜産経営・技術等の優良事例の紹介および普及を行った。

(単位：回)

区 分	回 数	備 考
地方審査委員会の設置・開催	1	・4名出席
事例の取りまとめ	5	
事例の取りまとめ	1	
地域優良事例の情報提供	1	

12. 畜産経営改善のための中央情報活用体制整備事業

中央で整備された酪農および肉用牛データベースの利活用方法について支援指導を行った。

(1) シングルインの普及拡大

(単位：回)

区 分	回 数	備 考
普及PR活動の実施	1	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回説明の実施 7件巡回説明 ・説明資料の送付 送付箇所16箇所（生産者および関係機関） ・利用希望者とりまとめ 新規利用希望者 7件 変更利用希望者 9件

(2) シングルインの活用推進

(単位：回)

区 分	回 数	備 考
利用希望者の申請書類等のとりまとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者とりまとめ 現地支援実施件数 1件 ・現地支援の実施 3事例

13. 畜産経営改善技術のための支援・表彰事業（調査）

島根県審査委員会で推せんした事例について、中央審査委員会において最終審査対象事例として選定され、中央審査委員2名の出席のもとに追加調査を行った。

(単位：件)

区 分	件 数	備 考
平成20年度全国優良畜産経営管理技術発表会への最終審査対象事例の調査	1	

14. 畜産経営改善技術のための支援・表彰事業（調査）

前年度最優秀賞を受賞した事例について、中央審査委員会において平成20年度畜産大賞業績発表事例として選定され、中央審査委員2名の出席のもとに追加調査を行った。

(単位：件)

区 分	件 数	備 考
平成20年度畜産大賞業績発表への最終審査対象事例の調査	1	

15. 貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会より、貸し付けが行なわれている設備・機械器具および車輛について、利活用・保守管理状況の確認調査を行った。

区 分	箇所数	基 数	備 考
確 認 調 査	11箇所	20基	

16. 国産牛肉需要拡大普及推進事業（産地ブランド牛肉実態調査）

消費者等に対して、産地ブランド牛肉を広く普及啓発するため、産地ブランド牛肉実態調査を行った。

区 分	回 数	備 考
産地ブランド牛肉実態調査	4事例	・4事例で5ブランド

17. 馬 事

(1) 種雄馬管理

隠岐どうぜん農業協同組合に対して、日本馬事協会の種雄馬管理の登録事務を行った。

(2) 馬事畜産振興推進事業

公営競馬の健全な運営・発展に寄与し、畜産振興の基盤の強化に資するため馬事振興を図った。

(単位：回)

内 容	回 数	備 考
・地方競馬開催予定表の頒布	4	四半期に1回
・福山市営競馬にて、中国地区畜産会会長杯酔水島特別競走の実施	1	
・福山市営競馬への競馬観戦ツアーの実施	1	

18. 畜産経営者間における取り組みの支援

生産者団体の事務局を受託することを通じて、畜産経営者間における取り組みについて支援を行った。

区 分	団 体 名	備 考
畜産経営者間における取り組みの支	島根県鶏卵販売農業協同組合	
	島根県養鶏協会	

援	日本鶏卵生産者協会島根県支部	
	島根県養豚協会	
	島根県削蹄師会	
	しまね畜産女性ネットワーク	
	島根県豚肉トレーサビリティ推進協議会	

19. 褒賞

畜産の共進会、研究会、共励会、競技会および発表会において、優秀な成績を収めた者に対して褒賞を行った。

20. 広報活動

(1) ホームページの構築

生産者に対しては、生産関係情報を提供することによって支援を行い、消費者等に対しては、生産者の取り組み等をつなぐことによって、本県の畜産への理解の醸成を目指すため、さらに、本協会の運営に関する情報をディスクロージャーすることによって、本協会への信頼性の確保に努めることを目的として本協会ホームページの構築を行った。

また、「島根の畜産」誌の発刊についても、本協会ホームページから発信する形態とし、併せ構築を行った。

(2) 参考図書の斡旋

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」、その他参考となる図書の購読を斡旋した。